



はばたき

学校教育目標 豊かな心を持ち、たくましく伸びてゆく生徒の育成

令和4年度
札幌市立定山溪中学校
学校だより
第5号
令和4年8月25日

～2学期始業式の話～

『人間が想像できることは、人間が必ず実現できる』

校長 小林 大介

今日から2学期が始まりました。この夏休みは皆さんにとってどんな1ヶ月になったでしょうか。今年も夏休み前半は大変暑い日が続いたり、また新型コロナウイルスの第7波と言われている感染拡大があったりと、皆さんの健康について大変心配しておりましたが、このように元気な表情を見て、安心しております。

さて、2学期のはじめに皆さんに考えてほしいことがあります。目標を立てることについてです。この後、学級に戻って2学期の生活や学習などについて、目標を立てる場面があると思いますが、目標を設定するときが一番大切なことは何でしょうか。それは、成長した自分の姿を想像することです。今日の話を参考にして、目標設定をしてほしいと思います。

今から約150年前に『人間が想像できることは、人間が必ず実現できる』という言葉を残した人がいます。フランスのSF作家でSFの父と呼ばれたジュール・ヴェルヌです。読んだ人もいるかもしれませんが、『十五少年漂流記』を書いた人です。彼の代表作の一つであり、ディズニー映画にもなった『海底二万里』という潜水艦が舞台の物語があります。潜水艦は、作品が書かれた当時は存在しておらず、ヴェルヌの想像力だけで作り上げたものでした。現在では当たり前のように、海洋調査等で潜水艦が使われています。

また、私が幼少の時に特撮ドラマやアニメで見ていたものに、腕時計が通信装置になるものや普通の家庭にテレビ電話が出てくるシーンがありました。当時は、電話は黒いダイヤル式のもので、カラーテレビがようやく一般的になった時代です。そんなことが現実になるとは考えもせず、別の世界の話のようにテレビを見ていました。でも、50年もたたないうちに携帯電話やスマートフォンが作られ、一人一人が小型のテレビ電話を持ち歩く時代になったのです。

想像したことが現実になるということに関して、2012年ロンドンオリンピックのボクシングで金メダルを取った村田諒太選手の話があります。オリンピックに出場が決まってから、村田選手は冷蔵庫に張り紙をしていました。そこには「オリンピックで金メダルを取りました。ありがとうございます。村田諒太」と書かれていました。オリンピックが始まる前から金メダルを取った自分をイメージし続け、トレーニングを重ねた結果、金メダリストになったのです。

『人間が想像できるものは、人間は必ず実現できる』ぜひ皆さんも、自分が成長した姿を想像し、実現させてほしいと思います。そのためにも目標をしっかりと立ててください。より具体的で、実現可能な目標です。2学期の終わりにその目標が達成できて、少しでも自分が成長できたという実感がもてる目標を立ててください。思い続け、目標に向けて取組を続ければ必ず実現できるのです。

2学期はこれまで以上に充実した時間になることを願っています。

～2学期始業式～

生徒代表の言葉より

1年 齊藤 弘邦

私の1学期の課題は、授業態度と委員会です。授業はあまり真剣に取り組むことができませんでした。委員会では仕事を忘れてしまうことがありました。それらを踏まえて2学期に頑張りたいことを三つあげます。

一つ目は授業態度です。2学期はもっと態度を改めて、授業に取り組みたいです。そしてテストなどで点数を上げたいです。二つ目は委員会です。2学期はもっと積極的に委員会活動に取り組み、この学校をより良い学校にしていきたいです。三つ目は行事です。2学期は文化祭があり、忙しくなると思います。だからまずは、行動するときはきびきびと、休むときは休む、というメリハリをつけて行動したいと思います。

以上の三つが2学期に頑張りたいことです。中学校生活にも慣れてきましたが、入学当初のことを忘れず充実した生活を送りたいです。

2年 阿部 渚

僕の夏休みの思い出は部活で行った職業体験です。職業体験ではビューホテルで布団しきを体験させてもらいました。最初に布団をしく順番や作法、まくらを置く方向などを教えてもらいました。はじめのうちはうまく出来なかったけれど、回数を重ねていくうちに慣れていきました。そして何部屋かやった後、今度は布団のたたみ方やしまい方を教えてもらいました。布団をしまった後、担当の米谷さんにホテルの裏側の厨房やパントリーを見せていただきました。少し休憩をした後に入らせてもらった、プールや温泉もすごく楽しかったです。

僕の2学期の目標は、何事も計画的に進めることです。夏休みは30日間もあったけれど、時間は有限なので勉強と部活動のどちらにも力を入れないと、課題が終わらなかったり、部活動に力が入らないと感じました。ですから、部活動や勉強を両立できるように計画的に行動したいです。

3年 中田 陽瑠

夏休みが終わってしまいました。長いようで短い30日間でした。出かける機会も少なかったため、早く宿題を終わらせることができました。また、僕は受験生のため積極的に学校に来て、自分の苦手な理科の内容を教えてもらいました。夏休みに頑張った分2学期は結果を出せるように頑張りたいです。

1学期は挨拶や声の大きさを注意されていました。2学期は、自分から大きな声で挨拶をしていきたいです。

卒業までの7ヶ月、自分の課題を克服し、自分の行きたい学校に行けるようにしたいです。

またクラスとしては、明るく仲良く過ごして、最後の1年を楽しいものにしたいです。